

平成24年度 公益社団法人 東京都診療放射線 技師会アンケート調査結果

福利調査委員会

平成24年度アンケート調査の結果集計が完了しましたのでご報告いたします。

調査内容：本会の公益社団法人化ならびに名称変更に対する意識調査

調査期間：平成24年11月21日～12月15日

調査対象者数：400

有効回答数：109

回答率：27.3%

◆ 回答していただいた方々の所属施設の内訳

病院（500床以上）	21
病院（200～499床）	33
病院（199床以下）	39
診療所・クリニック	12
その他	4
計	109

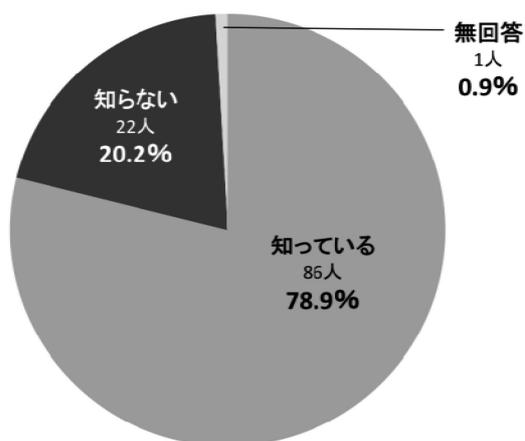
◆ 診療放射線技師の総数と男女比

	人数	割合
男	1,255	76.0%
女	396	24.0%
計	1,651	

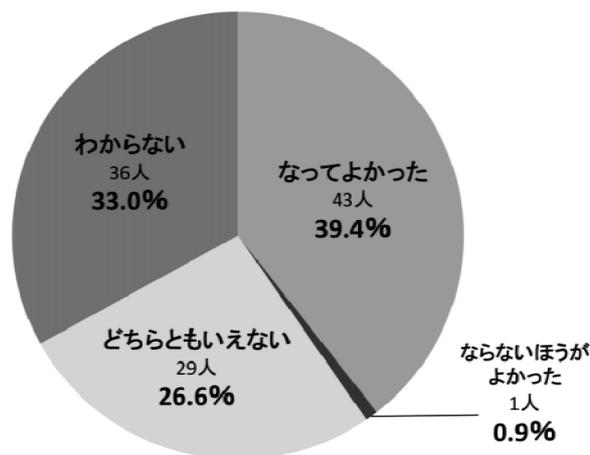
◆ 女性技師の割合（過去の推移）

平成7年	17.4%
平成19年	21.4%
平成24年（今回）	24.0%

Q1. 本会は平成24年4月に「公益社団法人」になりましたが、このことをご存知ですか。



Q2. 「公益社団法人」になったことについてどう思いますか。



【理由】

◆ なってよかった

- ・社会的信用が高まる。(同様の意見 計13人)
- ・税制面でのメリットがある。(同様の意見 計10人)
- ・公益性を認めてもらえる。(同様の意見 計5人)
- ・一般の方々への周知ができる。(同様の意見 計3人)

- ・格が上がった印象がする。
- ・健全なる運営を目指すためになってよかった。
- ・幅広く寄付金を集められる。
- ・天下り法人と区別される。
- ・一般法人では、理事に損害賠償責任が発生する。
- ・多数の会員に対して、利益を平等に与えることができる基盤となりえる。
- ・もともとが公益目的事業であるため、公益社団法人化は当然である。

◆ならないほうがよかった

- ・まだ公益社団法人になるほど会が成熟していない。会員のためにもっと努力すべき。

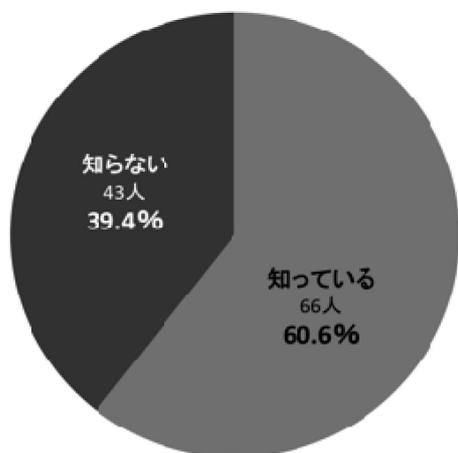
◆どちらともいえない

- ・これからの活動しだい。(同様の意見 計3人)
- ・メリット・デメリットがわからない。(同様の意見 計2人)
- ・対象を都民に広げることによる活動内容が不明。
- ・会費にみあったものがない。
- ・特に変化があると思えない。
- ・何が変わったかがわからない。
- ・会にとってはメリットであるが、会員にとってのメリットがわからない。
- ・事業の継続の関係で、みんなの財産を守るためには仕方がないが、我々に課せられる義務が発生するのなら周知していただきたい。

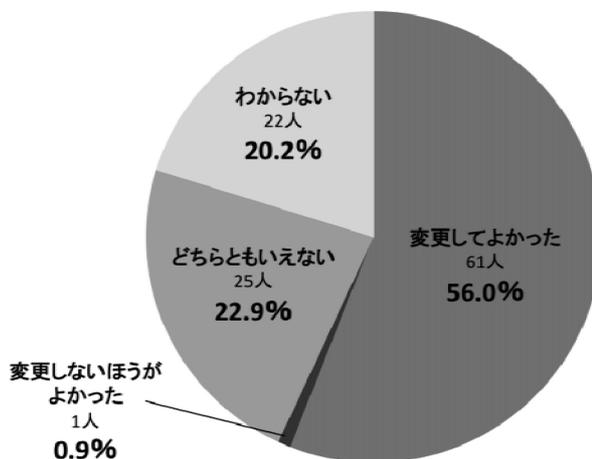
◆わからない

- ・一般社団法人と公益社団法人の違いがわからない。(同様の意見 計2人)
- ・会員にとってのメリットがわからない。(同様の意見 計2人)
- ・このアンケートで初めて公益社団法人化を知ったから。
- ・以前と比して、どのようになるのか？ 会員への還元や、国民に見える職種になるのかは今後の運営にかかると思う。

Q3. 公益社団法人化に続き、8月には「東京都診療放射線技師会」へ名称を変更しましたが、このことをご存知ですか。



Q4. 「東京都診療放射線技師会」への名称変更についてどう思いますか。



【理由】

◆変更してよかった

- ・資格の正式名称と同じほうがよい。(同様の意見 計21人)
- ・診療放射線技師という名称を知ってもらえる。(同様の意見 計9人)
- ・わかりやすい、理解されやすい。(同様の意見 計4人)
- ・放射線を扱う他の職種と区別してもらえる。(同様の意見 計4人)
- ・全国組織(日本診療放射線技師会)と同じ名称のほうがよい。
- ・診療という単語が付くことで、医師サイドに一步近づくようになる。
- ・診療と臨床の違いを説明するともっとよい。

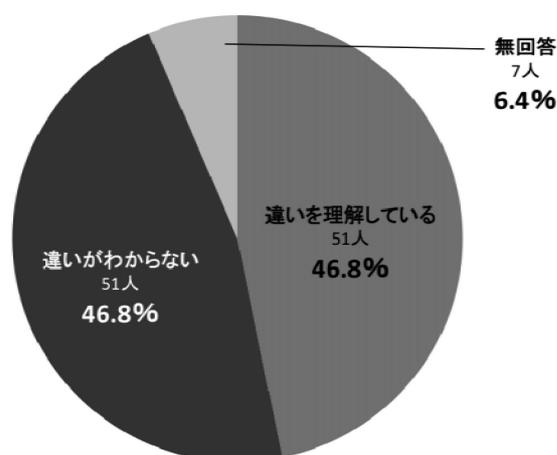
◆どちらともいえない

- ・名称に特にこだわりはない。
- ・名称などどうでもよい、要は活動内容の変化。
- ・特に変化があるとは思えない。
- ・普段は放射線技師と言っているので、「診療」が入っても変わらない。
- ・関心のある方には良いと思うが、一般の方々にはこれからの活動したいのような気がする。
- ・X線取扱主任者免許もあるので、今までなぜ診療を付けなかったのかわからない。
- ・事務用品の変更に予算が必要。
- ・会員に対してのメリットがよくわからない。会費にみあったものがない。仲間の中にも職を失っていく者多数！
こんなことしているヒマがあったら現状をよく見よ！

◆わからない

- ・変更して得るものが見えない。
- ・今後の運営しだい。
- ・このアンケートで名称変更を初めて知った。
- ・X線技師の身分はどうなりますか。

Q5. 「公益社団法人」と「一般社団法人」の違いについて、理解していますか。



Q 6. 「公益社団法人」に対してどのようなイメージをお持ちですか。

- ・公益に寄与する団体（同様の意見 計18人）
- ・社会的信頼度が高い。（同様の意見 計6人）
- ・非営利団体（同様の意見 計5人）
- ・税制面での優遇（同様の意見 計3人）
- ・社会的認知度が高い。（同様の意見 計2人）
- ・厳しい条件を整えて設立される。（同様の意見 計2人）
- ・健全な運営
- ・清廉潔白
- ・堅いイメージ
- ・透明性
- ・特定の会員に対する利益を防止できる。
- ・社会的な役割が強い印象
- ・しっかりとした法人
- ・利益なしの社会貢献をする団体
- ・法人関係以外への情報提供、施設提供
- ・間違ったことを言うとマスコミの反応が激しい。
- ・公益社団法人になったことにより、本会の立場と目的が対外的に正確に理解を得られやすくなった。
- ・公益を目的とする非営利法人であるので、社団法人や財団法人もあるが我々技師としてのイメージは変わらない。
- ・社会の流れで、どこの団体も公益に変更している様ですが、医師会は公益と法人を両方取り込んでいるようですが、技師会は公益で良いと思います。
- ・信用度が上がると言われているが、技師会内部の活動に制約を受けそうで心配である。一般社団法人のほうが活動しやすいのではないかと思うときがある。
- ・公益性が高く、放射線技師の独自性が失われていく気がしています。確かに社会的な信用は高くなると思います。
- ・利益団体
- ・役員報酬が不透明
- ・天下り

Q 7. 公益社団法人化と名称変更に伴って、本会は今後どのような活動をしていくべきとお考えですか。

- ・診療放射線技師の社会的な認知度を上げる。
- ・一般の方々に公益活動を通じて会のことを知ってもらう。（診療放射線技師に対して理解を深めてもらう）
- ・社会的認知度の向上
- ・もっと世間的・社会的に活動して、名称・活動内容等のアピールをすべきだと思う。
- ・各認定を社会に認知されるように広報してほしい。
- ・一般の方々に対して、情報提供を活発に行わなければならない。
- ・診療放射線技師としての社会貢献
- ・地域ごとに格差のない、社会と一体化した活動をお願いします。
- ・会員はもとより、国民に見える活動。そして、公的イベントや福祉についても企画、参加していってもらいたい。
- ・医療における放射線の利用状況などの啓蒙活動
- ・診療放射線技師の地位向上、職域の拡大、認知度の向上。
- ・放射線技師の地位向上と、さらなる発展ができるよう期待しています。
- ・放射線技師のさらなる地位向上を望みます。
- ・法人関係以外への情報提供
- ・法人関係以外への施設提供
- ・一部、レントゲン技師という名称で呼ぶ人々がいるので、幅広く診療放射線技師の認知を行うべき。
- ・社会に認知されるような職能集団としての確立及び啓蒙。
- ・国民、都民に対して技師の知名度、認知度を上げる

- ・放射線被曝の説明責任
- ・公益性を保ちながら、診療放射線技師の地位や認知度を高める活動をお願いしたい。
- ・公益と名乗るからには、世間や我々技師にとって有益な組織として社会に貢献していくべきと考える。
- ・放射線のことをよく知ってもらえるような研修等を増やしていくべきと思います。(一般の方対象)
- ・名称変更については遅いぐらいですが、診療放射線技師会として公益目的事業に対する取り組みについて再検討しても良いのではないかと
- ・公益性が上がるのは良いが、会員が会費を払うメリットをしっかりと出してほしい。各認定を社会に認知されるように広報してほしい。
- ・各資格の認知度向上
- ・会員から都民を対象を広げることを目的としていると思われるが、その内容が不明。都民との関わりを主とした活動が望まれます。
- ・学術及び科学技術の振興を目的とする活動
- ・高齢者の福祉の増進を目的とする活動
- ・公衆衛生の向上を目的とする活動
- ・男女共同参画社会の形成、その他より良い社会の形成の推進を目的とする活動
- ・線量測定、被曝相談などに力を入れるべきだと思う。
- ・公益法人となったことで、さらなる社会への認知の為に放射線関連の活動を要求されるものと思われる。しかし、独自性を見出せるかは日放技が絡むだけにやりづらいのではないだろうか？
- ・全体としては公に放射線とは何かという教育を最も身近な場でしていくのが目的だと思う。その上で、個人的に理想だと思うのは、将来的にある病院とその放射線部門が必ずしもセットでないことが認識できる国の医療システムが構築されることですね。それは被検者レベルにおける個人IDシステムと同時進行する可能性も示唆しています。色々と個人の検査記録が残っていると便利でしょうから。そして、結果的に、現在十分でない健診人口が例えば増えるのでは、などと期待できます。ここにみられるのは放射線検査に対する安全意識。やはり、そういったインフォメーションは公は広く持つとくべきだと思います。
- ・診療放射線技師向けの教育活動は引き続き行っていくべきと思いますが、各種催しに市民向けのコーナーを積極的に設けてもよいと思います。費用や会場の問題もあるとは思いますが、年に1回程度は市民向け専用の催しあるいは、何らかの催しの一部に市民向けコーナーなどを企画しても良いのではないのでしょうか。東京都診療放射線技師会の中には、各分野で専門の知識を持った方がたくさんいると思います。
- ・一般の方々は、診療放射線技師という職業を知らない人も少なくないように思う。職業名、医療における役割等を世間にアピールできればいいと思う。そうすれば、将来若い人たちが放射線技師を目指してくれると思う。
- ・東日本大震災の復興協力。各地で放射線の測定を行って、国民に対して放射線の理解を深めていく良い機会ではないのでしょうか。
- ・診療放射線技師育成プログラムの充実
- ・施設間格差の是正
- ・技師会と技術学会の統一化。新人技師も、どの会に入会すればよいか迷っています。
- ・資格認定機構の参加(技術学会に入会しないと参加できない認定がある)
- ・診療報酬に加点されるような認定資格の樹立。
- ・公益性が上がるのは良いが、会員が会費を払うメリットをしっかりと出してほしい。
- ・従来通りの活動は継続すべき(学会・各種研修等、健康増進活動、ペイシェントケア等)。
- ・色々な団体が行っているが、診療放射線技師会らしい公開セミナーを開催すべき。
- ・今まで以上に学会を開いてほしい。もしくは、東放技主催以外の学会も紹介するなど。
 - ①学術教育面
 - ・先進技術のチェックポイント(トピックス等)
 - ・講習会等案内
 - ②法令改正等、行政対応面
 - ・改正、改訂のポイント及び解説等のアナウンス
 - ・届出事項の追記、変更等の説明

③診療報酬等、業務対応面

- ・2年毎の改正等の対応
- ・放射線部内の重要項目や解説

①については、従来通りの活動で高く評価できる。

②～③についても、周知徹底や教育が図られることを望みます。是非よろしく願いいたします。

- ・診療放射線技師が行える業務の拡大（読影補助や注腸検査等）
 - ・例えば、専門知識の教育を受けている技師に関しては静注などの行為を行っても良いなど、診療放射線技師の業務拡大。
 - ・会員を増やすべく啓蒙活動の実施（現代の若い技師さんには、技師会が魅力的に思えていない可能性が多々見受けられる）
 - ・職能団体として、一般への認知はもちろん、入会されていない技師へのアピールをしてほしい。現在の在籍数が減っているように感じられる。
 - ・入会する意義、メリットを未入会者に伝える
 - ・会員および技師に対して、公益社団法人と一般社団法人の違いについて説明し、職業団体の必要性和義務に近い存在の理解を訴えなければならないと思う。
 - ・会員数の増加
 - ・診療放射線技師の医療への貢献をする職業としての立ち位置を検討して、責任のある業務を確立していけるようなこと。日放技との連携もアピールして、技師会入会によって診療放射線技師職の向上や保護を行政に投げかけていることを会員外に啓蒙してほしい。
 - ・会長はじめ執行部一任。その他、診療放射線技師免許を持った者は会員になる義務があると思いますので、その啓蒙活動をお願いします。地区委員の方々は、若い技師も一所懸命ですが、技師長クラスに理解度の低い方がしばしば見受けられます。ご検討をお願いします。
 - ・働ける場の確保、生涯安定して技師として働けるような立場、地位を確保してほしい。
 - ・今まで、個人だけを考えてきたが、これからは医師会のように技師会は技師を守っていかなければならない。技師の中も格差社会に見える。
 - ・会員のための、会費にみあったことをしてほしい。例えば、失業者対策！職場がないのであれば、せめて自営できるシステムをつくること！ 法的整備をすること！ 胸部の検診くらい技師のみで可能だと思う。診断はLANケーブルで読影センターに送り、医師が診断、レポートを書く！ 少しは技師の立場、職場の充実を考えろ！
 - ・社会的に貢献していく事も大事であると思います。そのことが放射線技師の名前を広く世間に広めていく事にもなると思います。その事と併せて技師の地位向上にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。現在、特に大学病院を中心として、嘱託職員、任期制職員の比重が高くなっており、技師となった場合の将来に希望が見いだせない状況が出ています。大学を卒業しても大病院への就職は正規職員として認められないなど、学生にとって苦しい状況を何とか技師会として考える事は出来ないでしょうか。また、放射線技師の質の向上から言っても、2年～3年で職場を変えたり、変えざるを得ない状況の中で、技術部門の質の低下が問題となる時期がいずれ来るのではないかと考えております。
- かつて、先人はX線技師の地位を勝ち取りました。そして、その質の向上を目指す中で放射線技師という資格を認めてもらう事に大変な努力をされてきました。各種の認定制度と併せて。この問題にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。
- ・会員には明確な活動でありますように。「役員と一部の人たちだけで行っている」と、会員を辞めた技師に言われないようにして下さい。
 - ・内部的には会計処理等、負担増にならないようスムーズな運営ができるよう期待しています。
 - ・名に恥じない、相応しい活動を願う。
 - ・まずは現状の活動に、より多くの技師が参加すべきだと思う。

Q8. その他、ご意見がございましたらお書きください。

◆本アンケートの内容に関して

- ・税制上の優遇措置があるそうですが、具体的に、会にとりましてメリットになったこと（あくまで税制上）を教えてください。
- ・本アンケートを行う主旨、意義が理解しかねます。必要のないアンケートなのではと思います。この意見を述べるために、会員ではありませんがアンケートに回答させていただきました。

◆本会の運営に関して

- ・会費を下げて欲しい。
- ・会費高すぎ？
- ・会費について言及すれば、毎回発刊の技師会誌は施設ごとにして、個人会費の負担を減らせる工夫にはならないだろうか？
- ・診療所の技師にとって技師会そのものが役立っているかどうか。クリニックが保守的なところが多い。会費が高くメリットがあまりない。
- ・技師会へ入会している特権をもっとわかりやすくしたほうが良いと思う。例えば、勉強会、研修会等で新入会は無料等はわかるが、それを区別するものがないと思う。会員証等、入会年度がわかるような物（会員カード）を作り提示するような方法ができないのか。
技師会へ入会している事の利点をもう少し多用していかないと魅力を感じなくなり、他の人への入会を勧めにくい。
- ・医療業界内での力なさすぎ？
- ・会員の入会率を上げる施策はないのか。
- ・今後の日放技との係わりは？ 現段階では両団体に加入がほぼ義務化しているが、各団体加盟でもかまわない気もするのだが…！
- ・技術研修施設（受け入れ病院）があると良いです。（一般、上部消化管、CTなど）
- ・地区ごとの活動を活発にし、定期的な勉強会を行う。（症例報告や検討会など）
- ・会員が興味を持つ、関心や目を引き付ける事業と参加しやすい運営をお願いします。（十分取り組まれていると思いますが、広報やアピールがもう少しでしょうか）
- ・専門技師、認定技師および専門技術者など、各分野の専門性が推進されている現状ではありますが、感染対策、医療安全、患者接遇などは、専門性に関係なく全ての診療放射線技師が身につけておかねばなりません。また、読影の補助なども今後行っていく必要があります。X線写真を撮るだけ、検査するだけでは、診療放射線技師とは認められない時代になったと思います。そこで、各種専門性に対応した企画は当然必要ですが、診療放射線技師として必要な感染対策、医療安全、患者接遇などの知識を深める企画や、読影に対する考え方を学ぶ企画も計画的に進めてもらえるとありがたいです。
東京都診療放射線技師会は、東京に勤務するわれわれ技師には身近な存在であり、きめこまかな企画を今後も期待しています。そうすることにより、若い技師の入会も増えるのではないかと思います。日々の日常業務をこなし、その上で東京都診療放射線技師会の仕事をしており、会長、副会長をはじめ理事の先生方は大変ご苦労しているものと思います。
今後もよろしく願いいたします。

◆今後のアンケートの案に関して

- ・放射線撮影装置における安全管理、リスクマネジメントはいかがでしょう。

◆その他

- ・やはり、私達現場の人間がプロ意識をもって日々精進しなければと思っております。そのためにも、今後ともご指導の程宜しく願いいたします。
- ・いつもお世話になり感謝しております。今後の役員の皆様の活躍を期待しています。

以上

この度の調査にあたり、ご協力をいただきました方々へ感謝申し上げます。